



1. マーケット・レート

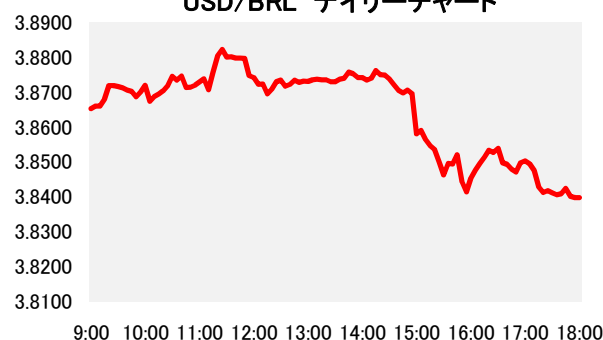
			6月13日	6月14日	6月17日	6月18日	6月19日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.8490	3.8960	3.8890	3.8610	3.8400	-0.0210
	BRL/JPY	Spot	28.160	27.860	27.91	28.09	28.15	+0.06
	EUR/USD	Spot	1.1277	1.1209	1.1219	1.1194	1.1227	+0.0033
	USD/JPY	Spot	108.37	108.56	108.54	108.45	108.10	-0.35
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.126	6.076	6.108	6.123	6.108	-0.016
	Future	1Year(p.a.)	5.953	5.871	5.926	5.934	5.926	-0.007
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.200	3.205	3.239	3.173	3.020	-0.153
	USD	1Year(p.a.)	3.003	3.051	3.040	2.974	2.857	-0.118
株式	Bovespa指数		98,773.70	98,040.06	97,623.25	99,404.38	100,303.41	+899.03
CDS	CDS Brazil 5y		164.96	164.83	165.15	160.13	154.32	-5.80
商品	CRB指数		174.424	174.809	174.419	176.098	175.434	-0.66

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

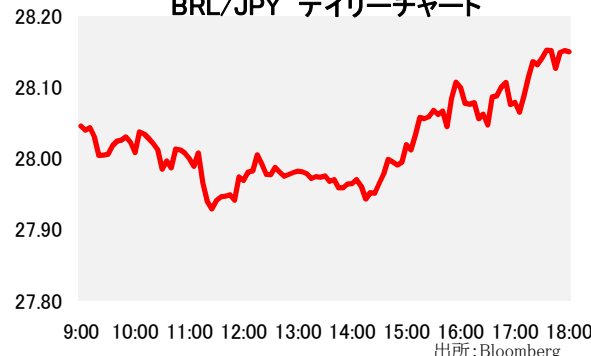
2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	0.0%	0.1%	0.0%
CNI産業信頼感	--	56.90	56.50
SELICレート	6.50%	6.50%	6.50%
(米)FOMC政策金利(上限)	2.50%	2.50%	2.50%
(米)FOMC政策金利(下限)	2.25%	2.25%	2.25%

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



3. 要人コメント

パウエル米FRB議長	(トランプ米大統領がパウエル議長解任を議論したことに関して) 任期を全うするつもりだ
------------	--------------------------------------------

4. トピックス

- 本日のリアルは上昇。3.8600で寄り付いた後、FOMCを前に米株がやや弱含んだことに伴い日中安値3.8830を付けた後は、様子見姿勢が強まる中で横ばい推移。FOMCがややハト派寄りの結果となるとドル安が進み、リアルは日中高値3.8420を付け、結局3.8400でクローズした。
- 18日(火)–19日(水)開催のFOMCでは、市場予想通り、政策金利が2.25–2.50%のレンジで据置かれた。一方、声明文では「辛抱強い(patient)」との文言が削除され、経済に関する情報を注視し適切に行動する(act as appropriate)とされた。また会合後に発表された経済予想では、ドットチャート中央値により2020年に一回の利下げが示唆されたほか、経済や物価見通しに対する認識が下方修正された。総じて、将来の利下げが示唆されるハト派寄りの結果となった。
- 18日(火)–19日(水)開催のCOPOM(中銀金融政策委員会)では、予想通り政策金利が6.50%で据え置かれた。声明文では、2019年第一四半期に経済成長に一時中断が見られたものの、将来的には穏やかな成長が続くとの見解が維持された。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。